



### ユネスコ新春フェスタ2004案内

〈日時〉 2004年1月17日(土)  
午後1時30分から  
〈会場〉 エンジェルパルテ(旧 並木パ  
ラースト 中区袋町7-25)  
〈内容〉 ユネスコ活動奨励賞表彰、広島市  
役所合唱団演奏、記念パーティー

## 30周年記念事業、多彩に展開

### 講演と映画の集い、記念誌など

「三十にして立つ」―三十年間の活動を顧み、次なる展望を拓くべき記念の年を迎えて事業を実施してまいりました。

#### 講演と映画の集い

「広島市名誉市民新藤兼人監督・講演と映画の集い」は、広島市との共同主催で九月二十七日、広島県民文化センター・ホールで開かれました(後援)



「講演と映画の集い」で新藤監督が仕事について力強く講演

広島市教育委員会、同文化財団、同ひと・まちネットワーク。

まず、秋葉忠利広島市長が「集いは新藤兼人監督のご功績を称え同時に広島ユネスコ協会結成三十周年記念事業ということで意義深い」と挨拶。次いで現役最年長映画監督、新藤監督が会場定員満席の五七〇人の拍手に迎えられる登壇。演題は「生きているかぎり、生きぬきたい」。



記念パーティー冒頭で北川会長から土橋訓之初代代表らに記念品贈呈

### 講演

講演は八月に亡くなられた松原博臣さん(当協会顧問)のこと

とで始まった。「亡くなられて残念に思う。松原さんは医者で大事な仕事だが、小型映画で大きな仕事をされた」。話はやがて、子どもの頃のことへ。「父母や姉が当たり前のようにして稲を刈る、作業をする」「いい映画を撮りたいとするのは父母や姉の仕事ぶりから。それが私の勇気や情熱になっている」。

講演は愛妻・乙羽信子さんの遺作となった「午後の遺言状」に及ぶ。「準備を始めたところ乙羽さんが肝臓ガンになって、あと一年か一年半の寿命という。普通なら製作中止。私と乙羽さんは四十年も一緒に映画を作ってきた同志だから、何か贈り物をしなきゃ、乙羽さんは女優という仕事をやってきたのだから仕事で締めくくることが必要だ」と思った。「人はどんな仕事でも最後までやりぬきたいと思うし、仕事が生きる支えになるのではないかと思う」。

#### 映画「午後の遺言状」

老いの中に生を見つめる展開

と、監督の口から先程聴いたばかりの、妻・同志の乙羽さんに贈る夫・監督のレクイエムに観客は見入っていました。

#### 結成記念パーティー

新藤監督、広島市長、広島市の教育・文化・平和行政関係者、多山報恩会、宮島ユ協役員、当協会会員八十余人が「講演と映画の集い」後、鯉城会館に集まり、盛大に行われました。席上、土橋訓之初代会長をはじめ歴代会長・事務局長に感謝の記念品が贈られました。

#### 記念誌「広島ユネスコ30年」発行

▼三十年の歩み(年表、回想記) ◇高校生をついでユネスコ・サロン ◇ユネスコ活動奨励賞受賞団体 ◇会員名簿 ◇歴代会長・副会長・事務局長 ◇主催事業 ◇世界遺産/原爆ドーム絵がき ◇機関誌「ヒロシマ・ユネスコ」(創刊一五十七号)再録  
▼B5版、二五〇頁  
▼発行部数/三五〇部

### 第6回広島ユネスコ活動奨励賞受賞者と活動内容

学校・団体(代表者)	分野	活動内容	対象国(者)地域	活動開始
亀山小学校(楡山美恵子)	国際理解 国際交流	ボルネオ州第81番学校と姉妹交流	ロシア	94年
庚午小学校(西川雅子)	国際理解 国際交流	総合学習で異文化理解 ホームステイ	中国、米国をはじめ10数カ国	98年
日浦中学校(瀧口典子)	国際協力 ボランティア	空き缶回収で車椅子贈呈 (学校と地域)	インドネシア ウガンダ スリランカ	00年
広大附属高校(景山三平)	国際理解 国際交流 国際協力	「実験学校」指定 研究・調査 ユネスコクラブの育成 高校生海外研修参加 全国高校ユネスコ研究大会への参加 高校生のつどい 寺小屋運動(募金活動)	主にアジア、 太平洋地域	56年
府中トンベツクの会(朴富)	日本語教室 交流	日本語学習 地域との交流(学校、福祉セン ターなどの行事参加)	在日コリアン のハルモニ たち	99年
ヤヤサン アニヤマン カシ ひろしま(今中比呂志)	国際協力 (教育支援) 国際交流	学習援助 留学生との交流 親善旅行	インドネシア	92年
特定非営利活動法人日比 援助協力会(鎌倉啓次)	国際協力 (支援活動)	医療支援(無料診察) 物資支援(古着・医療機器・医 薬品の寄附) 教育支援(学校建築の援助・文 房具)	フィリピン	98年

# 第六回広島ユネスコ活動奨励賞

# 受賞団体決定

ユネスコ精神に基づいて学校  
教育および社会教育において国  
際理解、国際協力、国際交流を  
進める活動の育成と推進に資す  
ることを目的に、優れた活動を  
顕彰する第六回広島ユネスコ活  
動奨励賞(広島ユネスコ協会主  
た。

催、広島市教育委員会後援)は、  
このほど行われた審査(審査委  
員長/広島大学大学院国際交流  
研究科 中山修一教授)の結果、  
学校・社会両部門の受賞者・七  
団体が別表のとおり選ばれまし  
た。

本年度は対象地域を従来の広  
島市だけから近郊まで広げ募集  
しました。

今回の受賞団体を含め第一回  
からこれまでに受賞した団体は  
学校部門では小学校十一校、中  
学校四校、高校五校、社会部門  
は二十三団体となります。

国際平和文化都市を標榜する  
広島市にふさわしい国際活動を  
より発展させるうえで、この事  
業が広く認知され学校や市民の  
活動が活発になればと願ってい  
ます。

受賞団体には、一月十七日(土)  
開催のユネスコ新春フェスタ2  
004」の第一部で表彰式が行  
われ、賞状と賞杯が贈られます。

## へあせろべ2003 遊びで世界を結ぶ

市民手づくりの国際交流イベ  
ント「へあせろべ」が、去る十  
月十二日、中区の中央公園芝生  
広場で行われ、大勢の人で賑わ  
いました。

この催しは、今年で二十周年  
を迎え、約五十の団体が、メイ  
ンステージをとり囲んで、国際  
色豊かな催しを展開し、外国人  
や市民約一万二千人が集う賑や  
かなものとなりました。

当協会は、例年どおり、わら



初体験の竹馬に興じる外国のともだち  
=10月12日、中央公園

ぞうり、竹馬、竹とんぼ、ミニ  
ダコ、しゃぼん玉づくりなどの  
体験コーナーを設け、外国の子  
どもたちも参加して、一日を楽  
しく過ごしていただきました  
が、中でも、しゃぼん玉や竹馬  
乗りは子どもたちに人気があり  
ました。

また、これに加えて、世界遺  
産と寺小屋運動のパネル写真を  
展示して、ユネスコ活動の一端  
を紹介いたしました。通りが  
かりの人の目をひいていたよう  
です。

## 広響、ユネスコ 「文化対話賞」を受賞

去る十月、ロシア・サンクト  
ペテルブルグ建都三百周年記念  
事業に参加した広島交響楽団  
は、ユネスコの「文化対話」賞  
メダルを授与されました。

この賞は、サンクトペテルブ

ルグの建都三百周年を記念して  
ユネスコ本部が設けた新しい賞  
で、ロシア連邦政府が、日本と  
ロシアとの文化交流に大きく貢  
献したとして推せんしたことに  
より受賞したものです。授与式  
は、十月四日にパリのユネスコ  
本部で開かれた、サンクトペテ  
ルグの建都三百周年を記念  
するコンサートの中で行われ、  
松浦ユネスコ事務局長から、広  
島交響楽団の代理としてコン  
サートにも出演したユネスコ平  
和芸術家で、ピアニストのセルゲ  
イ・マルカロフ氏にメダルが授  
与されました。このメダルは、  
マルカロフ氏により、十月十七  
日の広響サンクトペテルブルグ  
公演第一日目の公演前に、同氏  
から貝川健一広響理事長に授与  
されました。

日本のオーケストラとして初  
のユネスコからの受賞であり、  
広島市民の誇りでもあります。

# 韓国大邱協会訪問記

## 深まった友好親善

広島・大邱ユネスコ姉妹提携による広島からの第二回の訪問団（北川建次団長ほか八名）は十月二日から七日までの間、韓国大邱広域市を中心に慶州、釜山などを訪問。第一回目に比べて団員数は半分でしたが、前回に負けず劣らず友好親善を深めてまいりました。

また、伽椰山国民ホテルでの歓迎晩餐会では大邱協会の関係者が多数出席され、相互の緊密な交流が図られ、親善の度は一層深まりました。

このホテルでの温泉とオンドルつきの部屋は団員にとつては得がたい体験であったようです。五十億円を要した大邱の新しい文化の殿堂オペラハウスやワールドカップでお馴染みになったサッカースタジアムの見学など躍進を遂げる韓国の現状を知ることができました。

釜山ではルチ市場、国際市場、国連墓地参拝など、大邱とは違った雰囲気を感じることで、実り多い友好親善の旅での重みを感じとりました。

### 大邱訪問団日程

- <1日目 10/2>  
広島国際フェリー港発(船中泊)
- <2日目 10/3>  
釜山国際旅客フェリー港着・慶州市/石窟庵・仏国寺(世界遺産) 大邱広域市着・夕食会(冷麺、ビビンバなど)
- <3日目 10/4>  
オペラハウス見学 スーパーマーケット友河洞/沙也可(金善忠の地) 海印寺(世界遺産) 歓迎晩餐会/伽椰山国民ホテル・日韓カラオケ歌合戦
- <4日目 10/5>  
大邱広域市内/梨令市、餅屋・ワールドカップサッカー場見学 釜山広域市着 ハイキングレストラン
- <5日目 10/6>  
ルチ市場、国際市場見学 龍頭山公園見学 国連墓地参拝 釜山国際旅客フェリー港発(船中泊)
- <6日目 10/7>  
広島国際フェリー港着

### 訪問団メンバー

浅井満里子、大本文字、北川建次、平岡豊恵、藤井正一、八木 實、八木登喜、山本隆信、由田千鶴子



### 浅井満里子

新たな感動を胸に、来年広島での再会を約して帰国しました。以下、訪問団員の報告集の中からの抜粋です。(紙面の都合で人数を限りました。ご了承ください。)(事務局長・山本隆信)

ユネスコ世界遺産に指定されている新羅時代の仏国寺と石窟庵、八萬大蔵経が木版で収められている高麗時代の海印寺は共に仏教文化を偲ばせ、特に海印寺の通風を工夫して保存を考えられた造りに感動しました。石窟庵へは歩いて歩いて歩きました。海印寺は登って登って登り、運動不足の私には足腰を鍛える参拝となりました。おとしは雨の為石窟庵は断念されたと言っています。今回は雲一つない晴天に恵まれ(旅行期間中青

天)、これも私を「雨女」から「晴女」に返上させるきっかけとなった? かもしれません。

× × × × ×

はるか日本の戦国の世を蘇らせる旅であったこともしつかり記憶に留めておきたいと思えます。一五九二年秀吉の時代の武将沙也可(日本名)は王辰倭乱で「礼儀を重んじる朝鮮国を侵略することは出来ない」と朝鮮に投降、帰化、金忠善という韓国名を名乗って、大邱郊外の友鹿里(鹿を友とする村)に定住し一生を終えました。友鹿里が韓日平和友好のかけ橋としてこれからもずっと伝えられて行くことを願っています。

× × × × ×

過去の不幸な歴史を乗り越えて、日本語を上手に話される大邱ユネスコ協会徐会長をはじめ年配の方々への心広さ、大きさに改めて尊敬の念を抱かざるをえません。

### 由田千鶴子

釜山港では、大邱ユネスコ協会会長をはじめ錚錚たる五名の方の出迎えをうけ、丁重かつビッグな歓迎にたじろぎを覚えませんでした。

一行九名大型バスに乗って悠悠ゆったり贅沢なバス旅行がスタート。この様な条件も初めて

です。

バスは一路古き都、慶州へ。慶州の澄みきった青空の下、のどかな田園風景です。

黄金の穂波、たわわに実る柿、風にゆれるコスモス、日本で見なれた風景でありながら日常の雑事から解放されたせいでしょうか、日に三度の食事は全て満漢全席風でボルテージはあがりっぱなしで食欲の秋を満喫しました。

私にとって今回の旅の最大のハイライトは海印寺の八萬大蔵経を目のあたりにすることでした。百聞は一見に如かず、あのシーンは生涯忘れることはないでしょう。

完成したばかりの大邱オペラハウスはアジアではNo1、他に類を見ない設備の本格的オペラ劇場、客席と同じくらい奥行のあるステージにあがらせていただき劇場仕様の説明を伺って、大邱市民に羨望を覚えました。

まだ記憶に新しいワールドカップやユニバシアードの行れた七万人収容の大邱スタジアムは、全てコンピューター制御を駆使して管理をするという仕組み、固睡をのんで聞き入りました。

UNESCOの訳通り教育、科学、文化と多岐にわたって、収穫充分で実の秋にふさわしく、韓国の人々との交流を筆頭に、とても意義深い旅でした。

# 今年も平和の鐘鳴り響く

広島ユネスコ協会では、今年も「平和の鐘」事業を、去る八月十五日、正午から平和記念公園

内平和の鐘鐘楼で行いました。これは、核兵器の廃絶と世界平和を願って、全国のユネスコ協会が一斉に平和の鐘を撞くもので、今回は多くに会員に加えて

平和記念公園に外国(オーストラリア外)から観光などで来園していた方々も多数参加、約百五十名の参加者となり、大いに盛りあがった催しとなりました。

プログラムは、参加者全員で黙祷の後、韓国大邱ユネスコ協会からのメッセージ朗読、参加者全員による打鐘、そして、「平和の鐘に託すわたしの願い」

をテーマに、メッセージの記録を締めくくりました。世界平和実現のために努力することを確認しあった意義ある事業となったことは、寄せられたメッセージからもうかがえます。

「寄せられた平和への願い」  
◇平和が続きますように◇世界が一つになりますように◇人が人の命を断つことのない世の中に◇平和◇安らかに◇平和と幸福を築こう◇へいわなせかいに◇世界平和◇心の中に平和を◇永遠に世界平和が続きますように◇今年の「平和の鐘」はこれまでの年と違い、戦争の脅威を感じながら撞きます◇世界から戦争がなくなり、平和になりますように◇万物が平和でありますように◇再び被爆者をつくら

ないように◇ユネスコ憲章の前の心を心として厳しい世界に立ち向かおう◇日々の心の中に平和を◇この世から悲しみがなくなり、平和の喜びが溢れますように◇戦争は絶対に許すことができません◇今日の平和の鐘の音が世界の人々に平和と幸福を◇今日ここに来た人が平和について思ってくれますように◇戦争が残すものは悲しいことしかないです。◇二度と悲しい戦争を起こさないように。親も子も辛いです◇We wish for better understanding and tolerance for other peoples cultures, religions and ideals. ◇Peace is important Let try harder. We are all in this wonderful world together — let us live in harmony together and respect each others difference.

## ユネスコ英会話教室第三弾

### 「ひろしまを英語で話そう」終了

今年で三回目を迎えた英会話教室「ひろしまを英語で話そう」が去る十一月十九日に終了しました。今回は、定員三十名に対し、三十五名の青年の申し込みがあり、その関心の高さが伺えました。

講師にひろしまガイド通訳協会の梶田祐子先生を迎え、毎回テーマに添って、ロールプレイを取り入れながら、英語の実習を行いました。

最終回のまとめとふりかえりでは、二人一組がある場面を設定して英語でやり取りし、それに対し先生がコメントすると言った方法で行いました。最後に、これまでを反省し、意見や感想を伺いました。

参加の動機は、英語や通訳ガイドに興味があったからといった方が多く、また、継続したいかどうかの問いに対しては、殆どの方が続けてやって行きたいとの希望でした。先生から、今回の受講生は英会話の力は十分もっており、実践を積んでいけば上手くなれるとの意見をいただきました。

十二月三日にもう一度、今後の進め方について話し合いを持ち、運営は三人一組が順番にあたり、講師を月一回迎えることになりました。

当面の課題としては、現在、十四名がグループとして発足しましたが、二十名を目標に会員を増やしていくことや年間の計画(テーマ)を立てていくことが上げられました。

今回、当協会から松尾常任理事にオブザーバーとして参加いただきました。

今後とも、グループを積極的に支援し、広島に来られる外国人をおもてなしできればと願っています。

毎月第一・三水曜日  
午後六時三十分から青少年センターで (理事・國田 繁)

はじめてのハンゲル講座 スタート  
はじめてのハンゲル講座が去る十一月二十一日からスタートしました。これは、青少年センターとの共催事業として昨年度から行っているもので、今年度は十九名の青年の申し込みがありました。

開講式には当協会から藤井常任理事、山本事務局長が出席し、あいさつ、オリエンテーションに引き続き講師紹介に移りました。講師はアジア競技大会広島の際の通訳の経験もある、広島国際大学講師 清水徳之先生をお迎えしました。

一回目は母音について学習しました。会話を中心に、全員で発音を何度も繰り返し練習し、しかも、先生から指名されたらそれに応じていく方法で進められ、受講生は熱心に取り組んでいました。二回目は子音を中心に、三回目からは挨拶へとステップアップしていきます。(全五回)

これからも、隣国である韓国の言葉を身につけ、交流を積極的に進めていきたいものです。

〔定例会〕 (國田 繁)



写真は比治山女子高校の生徒さんと鐘を打つ高橋副会長

## 中国ブロック・ユネスコ活動研究会報告

十一月八・九日、東広島市で開催された中国ブロック・ユネスコ活動研究会へ参加してまいりました。井尾さんが全体司会、亀井さん、松岡さんが分科会の司会をされるなど、当協会も大いに協力。約七十名の参加者の内、約三割が広島ユ協から。

初日のプレゼンテーションで

は、日ユ協連事務局長 竹尾氏から、ユニセフに比べ低いユネスコの認知度アップに努めたいとお話があり心強く思いました

## 追悼 松原博臣先生

亀井 章



ありし日の松原元会長

「広島にとって大事な人を失ったという感じがしています」九月二十七日、「講演と映画の集い」の新藤兼人映画監督の講演はこの言葉で始まった。演題「生きていくかぎり生き抜きた

た。基調講演では、AMDAの海外事業本部長 鈴木俊介氏が「多様性と国際援助」と題して講演。国際化、グローバル化が進む中、文化の多様性を財産にしているか（違いに意義を見出しているか）が重要、多様性の共存こそ、相互扶助の精神につながる。ただ、メディアが話題を選択することで、不平等が発生し、多様化の否定につながっているとの指摘には、うなずいてしまいました。

その後、分科会では松岡さんが司会をされた「ユネスコ活動」に参加。底辺拡大のための「ユネスコ活動」をテーマに、各ユ

い」の出だしで松原先生についての話が続く。

「松原さんは医者なんです、本業をさぼって小型映画に熱を入れ、貢献されて世界的に有名な映画もあります。人は仕事を

た。協の現状などを報告し合いました。参考になった中に、世界遺産めぐりをした時、通常では見られないところまで、ユネスコ会員には特別に見せてもらえ、会員になってよかったと好評だったのお話がありました。なるほどこのような特典は会員増加につながると思つたのでした。その後行われた青年の集いには、広島大学や広島国際大学の学生約十名と清水さん、私など協会員数名が参加。寺子屋運動や世界遺産保護に興味を持っている学生も多く「広島には原爆ドームがあるが、その保護のためにどんな活動をしているの

生が産みの親である。

この映画祭は、それまでの先生の映画作家としての実績の上に誕生した。59年広島エイト倶楽部創設、66年「宮島」カンヌ国際アマチュア部門銀賞、67年「ヒロシマ」パリ国際ポルタージュ部門一位、国内の映画コンテストでも受賞相次ぐ。晩年は日本アマチュア映像作家連盟副会長として作家の全国組織づくりと作品発表の場づくりに力を注がれ続けた。二〇〇〇年広島開催の国民文化祭では映像部門の実行委員長を務められた。

先生とユネスコの関係は、や

か」との質問も出ました。やはり広島でユネスコといえ、まずイメージされるのは原爆ドーム。その精神があれば、なんでもありのユネスコ活動ですが、そういった広島ならではの特徴を前面に打ち出すことで、周囲へわかりやすい「見えるユネスコ活動」になり、延いては青年層の吸引につながるのではないかと思います。

(理事・梶井朝子)

## 国際交流・協力の日に参画

国際交流・協力の日が十一月十六日(日)、広島国際会議場及び

はり前述の映画祭に始まる。日本ユネスコ協会連盟の主催を仰ぎ、映画祭実行委員に広島ユ協内海蔵顧問を、審査員に日ユ協連 桑原武夫副会長を迎え、同連盟賞を設けていただいた。そうした縁で、先生は監事、副会長を歴任後90年から93年まで広島ユ協会長、その後顧問に就任、95年、日本ユネスコ創立五十周年でユネスコ活動功労者・文部大臣表彰の栄に浴された。

会場前緑地帯で開催されました。広島ユネスコ協会はこれまでと同様紹介展示コーナーに出展し、ユネスコ活動を紹介しました。今回の展示は寺小屋運動を紹介したタペストリーとアジアを中心とした世界遺産の写真パネル。国際部会の役員が見学に来られた市民の方々に熱心に説明を行い、ユネスコ活動の一端を理解していただきました。

この催しは、広島平和文化センターと市内あるいは海外で活動する団体・機関が連携して行うもので、今年で四回目でした。(理事・藤井孝行)

られた。また、本業の傍ら広島県PTA会長、広島市社会教育委員、民放・NHKの番組審議委員などを歴任された。

99年から、新藤監督を名誉広島市民にと、幾度も県・市議会、市長へ要請を続けられ、今年四月、その実現を「喜ぶ会」で世話人代表として挨拶された先生が、半年も経たないうちに本稿書き出しのような、新藤監督の追悼を黄泉の国でお聴きになるとは、信じられない。八月二十九日ご逝去。享年八十二歳。(常任理事)

### ユネスコ県連会長に 伊東 顧問就任

広島ユネスコ連絡協議会の永井滋郎会長の辞任に伴う役員改選が先頃行われ、新会長に当協会伊東亮三顧問が就任されました。この機会に県連体制と歴代会長を紹介しておきます。

▽会長／伊東亮三▽副会長／橋高泰司(府中ユ協)、亀井章(新・広島ユ協)△事務局長／永田龍男(広島ユ協)▽代議員／府中・尾道・東広島・宮島・広島ユ協会長・事務局長

#### 〈歴代会長〉

- ◇74年度～84年度 内海 巖
- ◇85年度～93年度 伊東 亮三
- ◇94年度～02年度 永井 滋郎
- ◇03年度～ 伊東 亮三

### 津ユネスコ協会世界 遺産研修で来広

三重県津ユネスコ協会の曾野会長をはじめ八名が「世界遺産視察研修旅行」のため、十二月六日から七日の二日間の日程で広島、宮島を訪れ、熱心に見学、研修にとりくまれました。

六日広島入りし、直ちに原爆ドームへ。

原爆ドームの世界遺産への登録の意義、また、世界遺産登録への取組み運動やドームの保存

方法の説明に耳を傾けられました。

国際会議場レストランで昼食をかねての当協会事務局との交流会では、お互いの活動内容や現状について意見交換をしました。

午後からは、まずヒロシマ・ピース・ボランテニア熊本さんの案内で平和記念資料館を見学され、想像を絶する原爆の被害の実相説明に胸を打たれ、あらためて平和の尊さに思いを馳せられたようです。

三時から約一時間当協会高橋昭博副会長の講話を真剣な眼差しで聞き入り、原爆の怖さや悲惨さを再確認された様子でした。

次いで平和記念公園内の慰霊碑への参拝、平和の鐘の打鐘、原爆の子の像などを見学。

七日は宮島へ行き厳島神社を見学、帰途に着かれました。(事務局 局長・山本隆信)

### 世界遺産講座(公民館) 協会役員が講義

ユネスコ世界遺産に関する市民講座(十一月十五日～十二月十三日、毎土曜日)に、広島ユネスコ協会の役員が招かれ、世界遺産に関する講義を行いました。

講座は、(財)広島市ひと・まちネットワークが生涯学習の一環として全市民を対象に行う「市民アカデミー事業」。

世界遺産講座を企画したのは安芸区の調整館、船越公民館。講座のテーマは「世界遺産とその地域の文明・文化」。

第一回「世界遺産の全体像」(亀井常任理事)を皮切りに五夜、講座が開かれ、第二回「エジプト文明と世界遺産」(北川会長)、次いで「西アジア(中東)地域と世界遺産」(広島市立大宇野教授)を挟んで中山常任理事が二回にわたって「インダス文明と世界遺産」「インドの歴史と世界遺産」を講義。三十余名の受講者はメモを取り、質問を重ねながら熱心に受講しました。

なお、市民アカデミー事業での「出前」講座は、昨年度の南区調整館・仁保公民館主管の講座「世界遺産をたずねて」に続いて二度目。



△6月▽

28日 第百十一回ユネスコ・サロン「国際社会に生きる資質能力を育成する学校経営」前舟入高校長・福原紘治郎氏

28日 理事会

△7月▽

30日 組織部会

△8月▽

1日 教育部会

7～10日 第四十九回全国高校生ユネスコ研究大会参加(大附属高校)

15日 平和の鐘を鳴らそう(平和記念公園)高橋副会長ほか

22日 三十周年記念実行委員会

30日 百十二回ユネスコ・サロン「広島都市圏の住宅事情」(株)リクルート中国支社住宅情報誌編集長・太田浩三氏

△9月▽

27日 広島ユネスコ協会結成三十周年記念講演と映画の集い・記念誌発行・記念パーティ(県民文化センター)

△10月▽

2～7日 第二回韓国大邱広域市親善訪問(北川会長ほか八名)

8日～11/19 講座・ひろしまを英語で話そう(青少年センター)

△11月▽

12日 国際交流べあせろべ(中央公園)

△12月▽

8～9日 中国ブロックユネスコ活動研究会参加(東広島市)

### 会員増加にご協力を

本年度、組織部が中心となつて会員増加の対策を検討しています。これは広島ユネスコ協会の命題でもあります。会員のみならず、お友達に加入について積極的にご勧誘を頂き、一人でも多く会員が増えるようご協力ください。よろしくお願ひします。なお、パンフレットや申込書は事務局で用意しています。声を掛けていただければお届けします。事務局 山本 (TEL082-823-2466)

- 北川会長ほか十八名
- 15日 第百十三回ユネスコサロン「広島原爆と放射線」広島国際学院大学学長・葉佐井博巳氏
- 15日～12/13 広島市民アカデミー事業・世界遺産講座(船越公民館)講師(北川会長、中山・亀井常任理事)
- 16日 国際交流・協力の日展示の部参加(世界遺産、寺小屋運動)
- 21日～12/19 講座・はじめてのハンケル(青少年センター)
- △12月▽
- 2日 第六回ユネスコ活動奨励賞審査会(子ども文化科学館)
- 6～7日 三重県津ユネスコ協会世界遺産視察研修来広(高橋副会長講話、山本事務局長案内)